

会 議 録

会 議 の 名 称	令和 2 年度彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森検討協議 会第 1 回会議
開 催 日	令和 2 年 1 1 月 5 日 (木)
開 催 時 間	午前 1 0 時 0 0 分開会 ・ 午前 1 1 時 4 0 分閉会
開 催 場 所	白岡市役所 4 階 特別大会議室
会 長 の 氏 名	小 峯 昇
出 席 者 の 氏 名・出席者数	彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森検討協議委員 小 峯 昇、山下 幸一、久保木 孝夫、長谷川 敏夫、 浅井 嘉一、上田 哲也、高橋 建男、石島 隆志 8 人
欠 席 者 の 氏 名・欠席者数	彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森検討協議委員 柴山 利幸、戸田 正勝、森下 廣輝、奥野 麦生 4 人
説 明 員 の 氏 名	(1) 会長及び副会長の選任について (2) 令和元年度事業報告について：東 航平 (3) 令和 2 年度事業計画について：東 航平 (4) いきもの調査について：東 航平
事 務 局 職 員 の 職・氏名	環境課 課長 大橋 寛枝 環境課 主査 村岡 信義 環境課 主事 東 航平 3 人
会 議 次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) 会長及び副会長の選任について (2) 令和元年度事業報告について (3) 令和 2 年度事業計画について (4) いきもの調査について 4 そ の 他 5 閉 会

配 布 資 料	会議次第
	資 料 1 令和2年度彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの 森検討協議会名簿
	資 料 2 令和元年度白岡緑と土の会作業報告
	資 料 3 令和2年度白岡緑と土の会事業計画
	資 料 4 令和元年度彦兵衛下小笠原遺跡ふるさと の森にかかる消耗品購入一覧
	資 料 5 ひこべえの森いきもの調査について
要 綱	彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森検討協議 会設置要綱

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
村岡主査	1 開 会 会議を開会。
野口副市長	2 委嘱書の交付 野口副市長から各委員に対して委嘱書の交付を行う。
野口副市長	3 あいさつ 野口副市長からあいさつ。
村岡主査	4 月 1 日付人事異動等により、環境課職員を紹介。
村岡主査	4 議 題 (1)会長及び副会長の選任について 議事の進行については、彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森検討協議会設置要綱第 6 条第 1 項の規定により、「会長がその議長となる」となっていることから、会長が決まるまでの間、大橋課長が議長を務めさせていただく。
大橋課長	会長、副会長は委員による互選となっている。どなたかいるか。
A 委員	事務局にて腹案はあるか。
東主事	小峯委員に会長、久保木委員に副会長として御協力願いたい。
大橋課長	事務局から案があった。 意見はあるか。
出席者一同	意見なし。
大橋課長	会長は小峯委員、副会長は久保木委員と決定してよろしいか。
出席者一同	異議なし。
小峯会長	小峯会長からあいさつ。
久保木副会長	久保木副会長からあいさつ。

<p>小峯会長</p>	<p>(野口副市長は退席)</p> <p>(小峯会長が議長となり、議事を進行)</p> <p>(2)令和元年度事業報告について</p> <p>(3)令和2年度事業計画について</p> <p>議事(2)「令和元年度事業報告について」、(3)「令和2年度事業計画について」、それぞれ関連があるため、一括して議題とする。事務局から説明願う。</p>
<p>東主事</p>	<p>資料2及び資料3に基づき、事業報告を説明。</p> <p>市、教育委員会、町ぐるみ白岡の共催で、中学生高校生をターゲットに地域ボランティアと協働で「冬の集い」という事業を開催した。参加者数は59名と、盛況であった。</p> <p>令和2年度の作業計画については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月から7月までの作業については自粛していたが、8月から活動を再開し、少人数で作業を行っている。</p> <p>また、「冬の集い」は新型コロナウイルス感染拡大が懸念されるため、中止が決定している。</p>
<p>小峯会長</p> <p>B委員</p>	<p>説明内容に対して質問等はあるか。</p> <p>今年度も数回、ふるさとの森内に不法投棄されているごみを処分した。不法投棄したものを片付けるという、その場しのぎの対処ではなく、ごみを捨てる人間の心理を理解し、ごみを捨てさせない環境を作ることが大切であると感じる。</p>
<p>C委員</p>	<p>作業実績には載っていないが、近隣に住んでいるため、定期的に草刈等をしている。草が刈られて綺麗に整備されている場所は、不法投棄が少ないように感じる。人の心理として、綺麗に管理されている場所であれば不法投棄等をしようという気持ちにはなくなるのではないか。</p>

D 委員	<p>上尾のトラスト 1 2 号地の原市の森でも、同じように不法投棄の被害がある。手入れの行き届いていない場所に投棄されることが多いため、見通しをよくすることは有効な対策になるのではないか。</p>
A 委員	<p>行政区内で犬の糞の放置への対応として、糞の周りをチョークで囲い、日付・時間を書いて、糞を放置した飼い主に気づかせるという手法をとっている。「見られている」ということを行為者に気づかせることも有効ではないかと考える。</p>
D 委員	<p>センサーライトをつけることも検討してはどうか。</p>
B 委員	<p>以前の会議で監視カメラを設置するという案があったが、諸問題があり却下となった。</p> <p>しかし、監視カメラではなく、森の動植物を観察するライブカメラ（センサーカメラ）という名目でカメラを設置し、「生物調査中」等の看板をつけておくことでも、不法投棄対策に一定の効果があるのではないかと考える。</p>
D 委員	<p>カメラやライトを設置することで、不法投棄の抑止と生物の観察の両方が期待できる。ぜひ検討してはどうか。</p>
A 委員	<p>ひこべえの森の知名度がまだ低いと感じる。貴重な森があるということを、広く市民に周知する良い方法を検討したい。</p>
D 委員	<p>トラスト 1 2 号地を例に出す。</p> <p>数年前から近隣の学校の吹奏楽部を呼んでコンサートを実施している。初回は 6 0 0 人の参加があった。子どもたちの演奏には家族が観覧に来るため、広報や駐車場の確保等、手間はかかるが、多くの参加者を見込めるのではないか。</p>

B 委員	<p>イベント場所の確保については、時間はかかるが可能である。</p> <p>しかし、コンサート等を実施するとなると、運営するボランティアに負担かかる。設営や広報等の調整は市で行い、ボランティア団体は負荷の少なく、楽しめる仕事を担当することが望ましい。</p> <p>周知方法として、HPやSNSなどを活用することも良い方法であると考えます。</p>
D 委員	<p>これから保全団体でも、高齢化が大きな問題となってくる。ボランティアの年齢構成を保つため、「楽しみ」「達成感」を感じられるような工夫が必要ではないか。</p> <p>(4)いきもの調査について</p>
小峯会長	<p>議事(4)いきもの調査について議題とする。事務局から説明願う。</p>
東主事	<p>資料5を参照し説明を行う。</p>
小峯会長	<p>説明内容に対して質問等はあるか。</p>
B 委員	<p>このいきもの調査は、誰もが参加できるエンターテインメントの要素が重要ではないか。楽しくなければ人は集まらない。メディア出演の回数も多い専門家に講演依頼をかけることも参加者増加に繋がるのではないか。</p>
小峯会長	<p>他に質問等はあるか。</p>
B 委員	<p>コロナ禍のなかで来年度以降のイベント等の実施について、どのようにお考えか。</p>
大橋課長	<p>実施については、方針等を確認し、また、小中学校とも相談しながら、今後の状況に鑑みて検討する。</p>
A 委員	<p>「冬の集い」について、白岡高校の参加はありがたい。高校生にもなると、積極的に自分から考えて行動する子どもが増えてくる。</p>
D 委員	<p>知る・体験してもらおうためにも、積極的に子どもた</p>

D 委員	ちに参加してもらいたい。
A 委員	森の近くの使用していない畑で農業体験をして、子どもたちが自ら育てた作物を「冬の集い」で調理することも良い経験になると考える。
C 委員	森の近くに空き地があるため調整すればできるかもしれない。
D 委員	学校から少々遠いが、学校ファームとして活動できる場所として整備しても良いチャンスかもしれない
小峯会長	その他質問として、何かあるか。
E 委員	地域の皆さんが活用できるように活動いただきたい。
小峯会長	F 委員は何かあるか。
F 委員	森の最終目標は「森を自然のまま保つこと」か「人々の憩いの場」として活用するのか。
B 委員	そのバランスをどの程度で考えているのか その点については、当協議会結成時から長い間議論されていることである。
F 委員	参加者によって考えが異なるため、折り合いをつけて検討しなければならない。
B 委員	人を集めることが目的であれば、コンサートを実施したり、お金をかければ何とかなる。
G 委員	G 委員は景観面での観点からどのようにお考えか。 ある程度は手を入れなければ貴重な植物は減少してしまう。協議会の中でどの程度手を入れるのか話し合う必要があるのではないか。
B 委員	タイトルをそこに絞ってまた協議するべきではないか。方向性を統一したい。
D 委員	あえて手入れをし、憩いの場となる箇所と、自然のままを残した箇所で分けるということも視野に入れて検討したい。

B 委員	もう一度基本的なところに立ち返って議論するべきである。
D 委員	<p>特定の木などに産卵する生物もいるので、極端に整備しすぎると生態系が乱れるおそれがある。</p> <p>森の中でも、ある程度生態系が確立されているため、整備範囲を区切って管理していくことが望ましいのではないか。</p>
B 委員	一年に一回のみの会議ではなく、「森の利用」に題を絞って、会議室ではなく森の中で会議してみてもいがかか。
A 委員	コロナ禍が落ち着いた頃に森の中で会議を提案したい。
小峯会長	時間が押しているのでこれにて終了とする。
出席者一同	異議なし。
小峯会長	以上で議長の職を下りる。
	5 その他
村岡主査	<p>その他として、事務局から、現在計画中の環境基本計画の中での「ふるさとの森」の位置づけについて説明する。</p> <p>(説明)</p>
村岡主査	その他、東主事から一点補足説明する
東主事	資料の4について、令和元年度彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森にかかる消耗品購入一覧である。この表にあるものの他に何か必要なものがあれば環境課まで御連絡いただきたい。
村岡主査	他に何か連絡事項等はあるか。
A 委員	名簿中の肩書きを「地域住民」に変更願いたい。
事務局	承知した。
村岡主査	他に何かあるか。
一同	なし。

